教育発達専攻

幼年教育専修

誕生から、乳幼児、児童期にわたる子どもの発達を見通せる
教育（保育）のプロを育てます。

学びのポイント

1 幼稚園教諭に加え、保育士、小学校教諭の免許・資格の取得をめざす

幼稚園・保育所・小学校といった種別を越えて、幼年期の子どもの発達と教育（保育）を長いスパンから捉え支える保育者や教師をめざします。とくに、幼稚園と保育所の一体化施設である認定こども園が増えつつある今日、0歳からの子どもに対応できる力の育成をめざします。

2 からだとこころを動かし、理論と実践を学ぶ

保育者・教師は、自分の思いや知識・技術などを子どもたちに伝える仕事です。そのため、「聞く・見る」といった講義形式の授業だけでなく、「語る・歌う」など、演習・実習形式の授業によって、身体を使って表現し、学びを伝える経験を重ねます。

3 学外で実践を深め、地域とつながる

奈良市内の幼稚園で保育の補助を行う「スクールサポート」、絵本をもって近隣の保育園や小学校に出かけ、子どもたちと絵本をよみあう「出張えほんのひろば」など、学内で学んだことを実践する場が、学外にも開かれています。

学びの領域

子どもを知り、保育のあり方を学ぶ4つの領域

右図の4つの領域から、就学前期の子どもの発達と教育（保育）を総合的に捉え、小学校教育との接続を意識した教育内容を編成する視点を養います。

幼年教育専修の授業スケジュール My Schedule

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	初等教科教育法(社会科)	初等教科教育法(生活)	幼児の造形	教育実習・事前指導		子ども文化論
3・4時限	保育実践指導論	初等教科実践指導		教育実習・事前指導	子どもの保健	
5・6時限		保育内容研究		幼年心理学特講	初等教科教育法(算数)	
7・8時限	障害児保育				幼児と自然	
9・10時限					相談援助	

幼年心理学特講
乳幼児の他者理解などについて、心理学的な学びを深めます。実習でふれあった子どもの姿と重ねあわせて議論し、子どもを理解するための視点を培います。

保育内容研究
保育の歴史と現在についてグループワークや幼稚園観察などを通して理解を深め、私たちがめざすべきこれからの保育のあり方について考えます。

保育実践指導論
乳幼児期の発達と保育について、保育観察や絵本の読みあい・パネルシアターの作成など、実技・演習を通して学びます。

Student's Voice 在学生の声

「教育・保育について、様々な観点で学ぶことができます」

幼年教育専修3回生
近江 穂乃香さん
（大阪府立生野高等学校出身）

幼年教育専修の良いところは、幼児教育・保育の実践力を講義や保育を観察することによって学べることです。子どもの発達や保育のあり方を講義形式の授業で学び、その後、実際に附属幼稚園などで保育を観察させていただくことによって、学びを深めることができます。そして、1回生では実際の保育現場を知り子どもたちの様子を観察、2回生では保育実習・施設実習、3回生では附属幼稚園で教育実習といったように、各学年の学びに応じた実習を経験することができます。

また、少人数制のため、学生同士はもちろん教員との距離も近く、講義や実習に対する疑問や相談を親身になってサポートして下さいます。同じ夢を持った仲間だからこそ、学年を超えた繋がりも深く、充実した毎日を送ることができます。素敵な保育者を目指したい方は、是非、幼年教育専修へ！

主な開講科目
教育・保育とカリキュラム／社会福祉論／子どもの食と栄養
幼児理解（教育（保育）相談を含む。）／子どもと言葉／社会的養護内容
保育内容研究／子ども文化論／子ども家庭支援論
幼年教育総合研究／子育て支援／保育者論

取得できる免許状
・幼稚園教諭一種　・保育士 等（P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照）

卒業後の主な進路
幼稚園・保育所や認定こども園に採用されています。その他、小学校教諭・学童指導員など、幅広い場で活躍しています。いずれも大半が公立機関（公務員）です。

教員および専門分野（令和2年5月1日現在）
・横山 真貴子教授／保育内容
子どもの絵本とのかかわりや読み書き能力の発達についての研究
・廣瀬 聡弥教授／幼年教育学
子どもの遊び、保育者の育ちについての研究
・大西 賢治特任准教授／幼年心理学
子どもの心やさしさや、道徳性についての研究
・岩本 華子特任講師／児童福祉論
女性や母子支援におけるソーシャルワークに関する研究
・松原 未季特任講師／教育・保育実習
幼児が他児の喧嘩やいざこざにいかに介入するのか